

教 育 研 究 業 績 書		
2019年 5月 1日		
氏名 下出眞知子 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
慢性腎臓病患者に関する実務	保存期腎不全、透析、摂取たんぱく質、心身健康	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 ・マルチメディア機器を活用した授業方法 ・臨地実習を通し管理栄養士の役割学ばせる	平成29年4月 ～現在	甲子園大学で担当の「臨床栄養学各論Ⅰ～Ⅲ」(専門科目、4年次配当、半期、各必須2単位)「臨床栄養学実習」(専門科目、3年次配当、半期、必修2単位)「臨床栄養療法論」(コース選択、通年、3年次配当)など臨床栄養学を中心にパワーポイントを用いた授業を実施することにより、学生の理解度の向上に努めている。また「臨地実習Ⅲ・Ⅳ」(専門科目、4年次配当、2単位)「総合演習Ⅲ」「臨床栄養実習」(コース選択、4年次配当)で病院への臨地実習を通し、医療の中での管理栄養士の役割を学ぶ。
2 作成した教科書, 教材		なし
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項 ・大学公開講座	平成30年2月26日 平成31年3月7日	一般市民を対象に「腎臓を守る食事～透析にいたらないために～」腎臓の機能は一度失われると、回復することがない場合が多く、自覚症状もほとんど無いまま進行してしまう疾患である。末期腎不全になると人工透析か腎移植しかありません。そこで生涯、健康な身体、健康な腎臓であるための食事を考えてみる。
5 その他 ・ラジオ10分間講座	平成30年7月6日	「腎臓を守る食事」腎臓を優しく守る食事についてたんぱく質を中心に分かりやすく解説をする。
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許	平成30年4月1日 平成31年4月30日	腎臓病療養指導士認定資格取得 糖尿病療養指導士認定資格取得
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他(講演) ・患者のための透析導入遅延のための腎臓病教室 ・透析患者さんの食事栄養指導 ・保存期腎不全患者に対する低たんぱく食事療法の有用性ー心身健康科学的側面からの検討ー ・透析患者さんの栄養管理～栄養士の悩み～ ・透析導入を延ばすための食事療法 ・透析患者の災害時における食事 ・在宅における腎不全の食事療法 ・「食事と腎の会」第1回CKD食事療法実践セミナー ・「食事と腎の会」第2回CKD食事療法実践セミナー ・「食事と腎の会」第3回CKD食事療法実践セミナー	平成9年～現在 平成26年11月 平成27年7月 平成27年11月 平成28年10月 平成28年9月 平成30年9月 平成30年10月21日 平成31年2月3日 令和1年6月16日	年3回透析導入遅延のための腎臓病教室を市民向けに医師と共に実施している。 第9回紀南血液浄化セミナー 第3回日本腎不全研究会学術集会・総会スイーツセミナー 第1回透析地域連携勉強会 神戸 第1回ビースタイルセミナー大阪 第6回南大阪の透析と防災を考える会 大阪 NPO法人西宮地域包括ケアを実践する会 医師と共同で管理栄養士を対象に30年の経験から透析導入遅延のための食事指導方法を伝授する講習会
研 究 業 績 等 に 関 する 事 項		

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1透析患者のたんぱく摂取量の心身健康科学からの検討 2高度浮腫を呈した糖尿病性腎不全患者の一例	共著 共著	平成26年9月 平成26年4月	心身健康科学10巻2号 糖尿病 5 7 巻Suppl. 1	
(学術論文) 1透析患者の適切なたんぱく摂取量の検討-心身健康科学の視点から-	単著	平成27年2月	八田麻呂竹子八子八学院博士論文 (日本透析医学会雑誌48巻2号)	腎不全患者のたんぱく摂取量が身体的、精神的にどのように影響するか
(その他) 研究発表 1. 透析患者のたんぱく摂取量の心身健康科学からの検討 2. 高度浮腫を呈した糖尿病性腎不全患者の一例 3. 透析患者の適切なたんぱく摂取量の検討-心身健康科学の視点から- 4. 当院透析患者の塩分制限の状況把握と指導への取り組み 5. 低たんぱく食の実践 (治療用特殊食品を上手に使う) 6. 保存期腎不全における1日食塩摂取量とたんぱく摂取量との関連性について 7. 本当に透析患者のアルブミン値は低いのか? 8. 血液透析患者のアルブミン(A1b)濃度の再検討 9. 血液透析患者の血清アルブミン(A1b)濃度と栄養指導の介入	共同 共同 共同 共同 共同	平成26年2月 平成26年6月 平成26年9月 平成26年9月 平成29年11月 平成30年6月 平成30年9月 平成30年6月 令和1年6月	第18回心身健康科学学会 第2回日本腎不全栄養研究会学術集会・総会 第1回腎と栄養研究会 第83回大阪透析研究会 全国臨床栄養研究会 福岡 第61回日本腎臓学会学術総会 第91回大阪透析研究会 第63回日本透析医学会学術秀会 第64回日本透析医学会学術秀会	

(注)

- この書類は、学長（高等専門学校にあっては校長）及び専任教員について作成すること。
- 医科大学又は医学若しくは歯学に関する学部若しくは学部の学科の設置の認可を受けようとする場合、附属病院の長についてもこの書類を作成すること。
- 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。
- 「氏名」は、本人が自署すること。
- 印影は、印鑑登録をしている印章により押印すること。ただし、やむを得ない事由があるときは、省略することができる。この場合において、「氏名」は、旅券にした署名と同じ文字及び書体で自署すること。